

製品名: SAFB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02569**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 103 kDa; Observed MW: 150 kDa

抗原情報

遺伝子名	SAFB
別名	SAFB; HAP; HET; SAFB1; Scaffold attachment factor B1; SAF-B; SAF-B1; HSP27 estrogen response element-TATA box-binding protein; HSP27 ERE-TATA-binding protein
遺伝子 ID	6294
SwissProt ID	Q15424
免疫原	ヒト SAFB の合成ペプチド

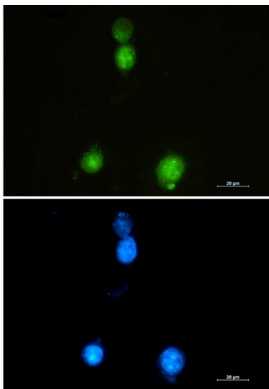
背景

この遺伝子は、足場またはマトリックス付着領域 DNA 要素 (S/MAR DNA) に高い特異性を持つ DNA 結合タンパク質をコードしています。このタンパク質は、クロマチンループの基部を核マトリックスに付着させる役割を担っていると考えられていますが、クロマチンの構成要素なのか、核マトリックスタンパク質なのかについては、相反する証拠があります。足場付着因子は、S/MAR に特異的に結合する核マトリックスタンパク質 (NMP) の特定のサブセットです。コードされているタンパク質は、活発に転写されている遺伝子の近傍で「トランスクリプトソーム複合体」を組み立てるための分子基盤として機能すると考えられています。この遺伝子は、熱ショックタンパク質 27 の転写制御に関与し、エストロゲン受容体コリプレッサーとして作用し、乳がん発生の候補物質となっています。この遺伝子は、同じ機能を持つ類似遺伝子と直接結合しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。

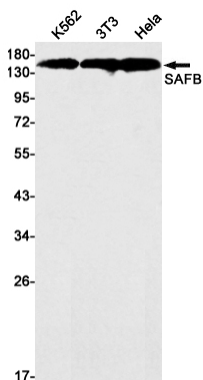
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

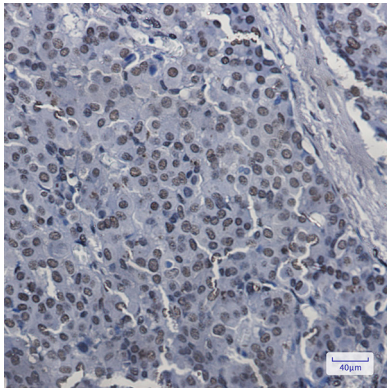
画像データ



SAFB1 抗体と DAPI (青) を使用した 293 の SAFB1 (緑) の免疫細胞化学分析。



SAFB 抗体を使用した K562、3T3、Hela 溶解物中の SAFB のウェスタン プロット分析。



SAFB 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。